



## 平成27年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年5月7日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ニックトー  
コード番号 5367 URL <http://www.nikkato.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長  
定時株主総会開催予定日 平成27年6月19日  
有価証券報告書提出予定日 平成27年6月22日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 西村 隆  
(氏名) 土井 祐二  
配当支払開始予定日

TEL 072-238-3641  
平成27年6月22日

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成27年3月期の業績(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期	8,773	10.9	441	27.1	468	43.2	285	48.9
26年3月期	7,909	2.8	347	△18.0	327	△26.3	192	△22.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
27年3月期	23.88	—	3.2	3.9	5.0
26年3月期	16.04	—	2.2	2.9	4.4

(参考) 持分法投資損益 27年3月期 一百万円 26年3月期 一百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期	12,560	9,084	72.3	760.96
26年3月期	11,668	8,777	75.2	735.26

(参考) 自己資本 27年3月期 9,084百万円 26年3月期 8,777百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
27年3月期	261	△198	△141	1,623
26年3月期	993	△166	△314	1,701

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
26年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00	143	74.8	1.7
27年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00	119	41.9	1.3
28年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00		37.3	

※平成26年3月期期末配当金の内訳 普通配当5円00銭 創業100周年記念配当2円00銭

### 3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,350	18.1	280	138.5	290	119.3	185	124.2	15.50
通期	8,900	1.4	480	8.9	500	6.8	320	12.3	26.81

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

27年3月期	12,135,695 株	26年3月期	12,135,695 株
27年3月期	198,673 株	26年3月期	198,367 株
27年3月期	11,937,129 株	26年3月期	11,937,365 株

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績・財務状態に関する分析 (1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析 .....	2
(1) 経営成績に関する分析 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
(4) 事業等のリスク .....	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
2. 企業集団の状況 .....	4
3. 経営方針 .....	5
(1) 会社の経営の基本方針 .....	5
(2) 目標とする経営指標 .....	5
(3) 中長期的な会社の経営戦略 .....	5
(4) 会社の対処すべき課題 .....	5
(5) その他、会社の経営上重要な事項 .....	5
4. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
5. 財務諸表 .....	6
(1) 貸借対照表 .....	6
(2) 損益計算書 .....	9
(3) 株主資本等変動計算書 .....	10
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(持分法損益等) .....	14
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15
6. その他 .....	16
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	16
(2) 役員の異動 .....	16

## 1. 経営成績・財政状態に関する分析

### (1) 経営成績に関する分析

(当期の経営成績)

#### ・当期の業績全般の概況

当事業年度におけるわが国経済は、4月より実施されました「消費税増税」により、前年度末の駆け込み需要から一転、第1四半期の経済成長がマイナスとなりました。そして、この事態はある程度予想はされておりましたが、意外に長引き第2四半期まで続いてしまいました。漸く10月になり、同月実施された日銀による「追加金融緩和」も相俟ってプラスに転じ、円安がさらに進んだこともあり輸出関連企業を中心に好調に推移する一方、この恩恵が届かない地方との格差問題もクローズアップされました。

このような状況のもとで、当社は期の前半は伸び悩み、第2四半期の終了時には通期の業績予想の下方修正までいたしました。後半になり客先の設備投資が活発化するに伴い巻き返し、当初の計画数字を達成するにいたしました。

この結果、受注面では主にセラミックス事業の需要が回復してきたことにより、8,703,158千円と前年度を2.5%上回り、売上高では前年度に受注計上していたエンジニアリング事業の大口物件が予定通り納入できたことにより8,773,139千円と前年度比10.9%増収で2桁の伸びとなりました。

損益面につきましては、売上高は大幅増となったものの、エンジニアリング事業の大口物件は何れも利益率が低く、またセラミックス事業では原燃料の高止まりは期中を通してコストを圧迫いたしました。前年度が悪かったこともあり、営業利益は前年度比27.1%増益の440,697千円、経常利益も同比43.2%増益の468,080千円となりました。

当期純利益も、これらのことから同比48.9%増益の285,064千円となりました。

#### ・当期の事業別概況

##### ①セラミックス事業

セラミックス事業は、売上高5,831,134千円と前年度比4.7%の増収となりました。

なお、市場別による分類では、電子部品向けは56.6%、化学・窯業・鉄鋼向け16.3%、環境・エネルギー向け3.3%となりました。

##### ②エンジニアリング事業

エンジニアリング事業につきましては、前述いたしました計測機器部門での物件以外にも、前年度不振であった加熱装置部門も大幅に売上が回復したことにより2,942,004千円と前年度比25.8%の大幅な増収となりました。

なお、市場別による分類では、こちらも電子部品向けが51.4%と本年度も半分以上を占め、次いで環境・エネルギー向け17.4%、半導体向け12.0%、自動車・重機向け11.0%となりました。

(次期の見通し)

今後の見通しにつきましては、当面、国内での景気上昇は見込めますものの、これが隅々にまで及ぶには障害も多く、予断を許しません。

このような状況下、当社は創業102年目を迎え社員一同日夜研鑽に励み、再び成長軌道に乗せるべく努力いたしてゆく所存でございます。

平成28年3月期の業績予想につきましては、売上高89億円、営業利益4億8千万円、経常利益5億円、当期純利益3億2千万円を予定しております。

なお、本資料に記載している業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により予想数値と異なる可能性があります。

(中期経営計画等の進捗状況)

当事業年度は、前半が極めて低調な業績で推移し、期中で下方修正しましたが、後半になり主力のセラミックス事業での需要回復とエンジニアリング事業での大口案件の売上寄与により当初計画を上回る業績で着地しました。しかしながら、今年度以降増収増益の計画としてはおりますが、先行き不透明な要因もあり、昨年度策定した中期計画よりもそれぞれ各年度の計画を減額修正しております。

## (目標とする経営指標の達成状況)

経営指標として、自己資本当期純利益率（ROE）と1株当たり当期純利益（EPS）を重視しております。目標数値はROE10%以上、EPS50円においております。

当事業年度におきましては、計画しておりました数値でも上記目標数値には届かず、今後中長期的な視点で収益向上策を策定し、実現に向けて推進してまいります。

## (2) 財政状態に関する分析

## (資産、負債、純資産及びキャッシュ・フローの状況に関する分析)

## ・資産、負債、純資産の状況

総資産は、固定資産が設備投資の抑制により前期末比2.6%減少しましたが、流動資産が増収に伴う売掛債権の大幅な増加で前期末比15.4%増加しましたため、前期末比7.6%増加の12,559,758千円となりました。

負債につきましては、流動負債が増収に伴う買掛債務の増加で、また固定負債も長期借入金の増加や株式市場における株価上昇でその他有価証券評価差額金の増加による繰延税金負債の増加で、前期末比それぞれ18.0%、36.2%増加しましたため、前期末比20.3%増加の3,476,185千円となりました。

純資産は、内部留保の蓄積による利益剰余金の増加と株価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加で前期末比3.5%増加の9,083,573千円となりました。

## ・キャッシュ・フローの状況

当事業年度末における現金及び現金同等物は1,622,778千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下の通りであります。

営業活動におけるキャッシュ・フローは、税引前当期純利益は増加しましたものの、増収に伴う売掛債権の大幅な増加により、前期末比731,601千円減少の260,921千円のプラスにとどまりました。

投資活動におけるキャッシュ・フローは、前期同様設備投資の抑制は続きましたが、余剰資金を有価証券で運用しましたため、前期末比32,311千円減少の198,332千円のマイナスとなりました。

財務活動におけるキャッシュ・フローは、前期比借入金の返済が少なく、前期末比173,589千円増加の140,771千円のマイナスとなりました。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期
自己資本比率	77.1	75.2	72.3
時価ベースの自己資本比率	46.9	42.3	38.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	140.5	79.8	305.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ	54.5	90.3	26.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1 各指標は、いずれも財務数値により計算しております。

2 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3 キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

4 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、経営資源の効率的な運用で企業基盤と財務体質の強化を図り、株主各位に中期的な配当の維持に努め、適正な利益還元を行うことを基本としております。

利益配当につきましては、上記観点から配当性向は20～40%を目安として配当金を決定し、株主各位のご期待に沿うよう努めてまいります。

当期の配当につきましては、期末配当は予定通り1株につき5円といたし、第2四半期末配当5円と合わせまして年10円とさせていただきます。

また、次期の配当につきましては、1株につき年10円を予定しております。

(4) 事業等のリスク

最近の有価証券報告書(平成26年6月23日提出)における「事業等のリスク」から重要な変更がないため開示を省略しております。

当該有価証券報告書は、次のURLからご覧頂くことができます。

(当社ホームページ)

<http://www.nikkato.co.jp/>

(金融庁EDINETホームページ)

<http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/>

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 企業集団の状況

最近の有価証券報告書(平成26年6月23日提出)における「事業の内容」及び「関係会社の状況」から重要な変更がないため開示を省略しております。

当該有価証券報告書は、次のURLからご覧頂くことができます。

(当社ホームページ)

<http://www.nikkato.co.jp/>

(金融庁EDINETホームページ)

<http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/>

### 3. 経営方針

#### (1) 会社の経営の基本方針

当社、「経営理念」に基づき、創造性に富んだ信頼される商品の提供を通じて、科学技術と産業の発展に寄与し、企業の成長と発展を期し、親しまれる経営で社会に貢献することを基本としています。

また、独自技術を磨き時代に即応した商品を環境保全に努めて効率よく生産し、適正な価格で販売し、株主各位、顧客、従業員並びに地域社会に貢献してまいります。

さらに、企業基盤の強化と業績の向上を図り、企業価値を高めることに最善を尽くしますと共に、経営情報のスピーディな開示に努めてまいります。

#### (2) 目標とする経営指標

経営指標として、自己資本当期純利益率（ROE）と1株当たり当期純利益（EPS）を重視しております。目標数値はROE10%以上、EPS50円においております。

#### (3) 中長期的な会社の経営戦略

当社は、得意とする特定分野のセラミックス並びに計測機器と加熱装置のリーディングカンパニーを目指しております。

当社の中期的な経営戦略は、毎年見直しを行っております、向こう3年間の「中期計画」に基づいて進めてまいります。

その重点課題は次のとおりであります。

- ① 環境・省エネ用セラミックス並びに耐摩耗セラミックスにおけるY T Zボールおよび粉砕機用部材の生産能力増強と生産効率向上。
- ② 温室効果ガス排出量の削減等エネルギーの効率的利用と生産改革による生産合理化の推進。
- ③ マーケットニーズに対応したセラミックス新製品およびエンジニアリング新商品の開発と拡販。
- ④ 内部統制システムの構築に基づくリスク管理の強化や内部監査の充実によるさらなる内部管理体制の整備。

#### (4) 会社の対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、当面、国内での景気上昇は見込めますものの、これが隔々にまで及ぶには障害も多く、予断を許しません。

このような状況下、当社は再び成長軌道に乗せるべく新製品・新商品の拡販に注力いたしますことは勿論、社内合理化や経費削減にも努めていく所存でございます。

まず、合理化につきましては、あらゆる経費の節減努力は勿論のこと、生産面における温室効果ガス排出量の削減に注力するとともに、生産改革によるコストダウンを推進いたします。

新製品、新商品分野では、環境・省エネ用セラミックスの開発を重点に、このための積極的な設備投資を実施いたします。

最後に社内管理体制では、コーポレートガバナンスのさらなる充実に努め、内部統制システムの運用強化を図ってまいります。

#### (5) その他、会社の経営上重要な事項

該当事項はありません。

### 4. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の事業は現在、ほぼ国内に限定されており、海外での事業展開がないこと及び子会社がないことから、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移、また同業他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向を踏まえ、IFRSの検討を進める方針であります。

## 5. 財務諸表

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当事業年度 (平成27年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,690,343	1,762,148
受取手形	934,355	1,697,766
電子記録債権	86,428	156,359
売掛金	1,714,000	1,899,119
有価証券	30,618	30,630
商品	34,269	44,569
製品	560,097	528,123
原材料	149,620	162,262
仕掛品	1,188,377	1,119,250
貯蔵品	136,733	143,177
仮払金	1,561	1,061
未収入金	3,465	3,972
前払費用	18,973	19,019
繰延税金資産	75,101	79,355
貸倒引当金	△500	△700
流動資産合計	6,623,448	7,646,115
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,727,022	3,768,182
減価償却累計額	△2,122,197	△2,239,058
建物(純額)	1,604,825	1,529,124
構築物	202,043	202,362
減価償却累計額	△130,294	△136,214
構築物(純額)	71,748	66,147
機械及び装置	6,482,850	6,550,832
減価償却累計額	△5,276,196	△5,544,187
機械及び装置(純額)	1,206,653	1,006,645
車両運搬具	72,246	74,063
減価償却累計額	△58,758	△59,585
車両運搬具(純額)	13,487	14,477
工具、器具及び備品	1,004,855	1,049,194
減価償却累計額	△902,906	△929,744
工具、器具及び備品(純額)	101,948	119,450
土地	495,761	495,761
建設仮勘定	6,460	8,890
有形固定資産合計	3,500,885	3,240,496
無形固定資産		
ソフトウェア	17,198	12,730
電話加入権	4,132	4,132
その他	4,380	19,045
無形固定資産合計	25,710	35,908



(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当事業年度 (平成27年3月31日)
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,189,511	1,522,335
従業員に対する長期貸付金	1,644	1,720
長期前払費用	12,144	47,723
敷金	35,171	34,592
事業保険積立金	29,113	30,866
長期預金	250,000	-
その他	-	280
貸倒引当金	-	△280
投資その他の資産合計	1,517,585	1,637,239
固定資産合計	5,044,181	4,913,643
資産合計	11,667,629	12,559,758
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
電子記録債務	146,842	366,228
買掛金	1,184,099	1,265,515
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	221,448	184,008
未払金	205,916	294,729
未払法人税等	95,309	95,645
未払消費税等	57,899	117,793
未払費用	665	635
前受金	243	14,702
預り金	18,291	17,713
賞与引当金	184,800	212,000
役員賞与引当金	14,125	15,820
流動負債合計	2,529,642	2,984,791
<b>固定負債</b>		
長期借入金	100,048	140,548
退職給付引当金	6,993	-
役員退職慰労引当金	115,806	129,107
長期預り保証金	70,181	71,199
資産除去債務	38,041	38,688
繰延税金負債	29,818	111,850
固定負債合計	360,888	491,393
負債合計	2,890,530	3,476,185

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当事業年度 (平成27年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,320,740	1,320,740
資本剰余金		
資本準備金	1,088,420	1,088,420
その他資本剰余金	137,017	137,017
資本剰余金	1,225,438	1,225,438
利益剰余金		
利益準備金	205,810	205,810
その他利益剰余金		
別途積立金	5,100,000	5,100,000
繰越利益剰余金	856,438	998,256
その他利益剰余金合計	5,956,438	6,098,256
利益剰余金	6,162,248	6,304,066
自己株式	△86,295	△86,418
株主資本合計	8,622,131	8,763,826
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	154,967	319,747
評価・換算差額等合計	154,967	319,747
純資産合計	8,777,099	9,083,573
負債純資産合計	11,667,629	12,559,758

## (2) 損益計算書

	(単位：千円)	
	前事業年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	当事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)
<b>売上高</b>		
製品売上高	5,570,325	5,831,134
商品売上高	2,338,630	2,942,004
売上高合計	7,908,956	8,773,139
<b>売上原価</b>		
製品期首たな卸高	557,677	560,097
商品期首たな卸高	23,222	34,269
当期製品製造原価	4,297,749	4,438,649
当期製品仕入高	166,002	173,668
当期商品仕入高	1,953,000	2,593,801
製品評価損	3,404	10,146
商品評価損	-	27
合計	7,001,055	7,810,661
製品期末たな卸高	560,097	528,123
商品期末たな卸高	34,269	44,569
他勘定振替高	34,896	78,479
売上原価合計	6,371,791	7,159,489
売上総利益	1,537,164	1,613,649
販売費及び一般管理費	1,190,504	1,172,952
営業利益	346,660	440,697
<b>営業外収益</b>		
受取利息	2,146	1,956
有価証券利息	20	204
受取配当金	26,747	28,843
受取ロイヤリティー	208	-
受取賃貸料	5,654	5,529
その他	8,272	8,437
営業外収益合計	43,050	44,972
<b>営業外費用</b>		
支払利息	10,994	10,030
100周年記念行事費用	47,750	-
コミットメントフィー	4,189	4,277
その他	0	3,280
営業外費用合計	62,934	17,589
経常利益	326,777	468,080
特別損失		
固定資産廃棄損	1,373	10,697
特別損失合計	1,373	10,697
税引前当期純利益	325,403	457,382
法人税、住民税及び事業税	145,000	161,000
法人税等調整額	△11,098	11,317
法人税等合計	133,901	172,317
当期純利益	191,502	285,064

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	1,320,740	1,088,420	137,017	1,225,438	205,810	5,100,000	778,341	6,084,151
当期変動額								
剰余金の配当							△113,405	△113,405
当期純利益							191,502	191,502
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計							78,097	78,097
当期末残高	1,320,740	1,088,420	137,017	1,225,438	205,810	5,100,000	856,438	6,162,248

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△86,211	8,544,118	16,896	16,896	8,561,014
当期変動額					
剰余金の配当		△113,405			△113,405
当期純利益		191,502			191,502
自己株式の取得	△83	△83			△83
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			138,070	138,070	138,070
当期変動額合計	△83	78,013	138,070	138,070	216,084
当期末残高	△86,295	8,622,131	154,967	154,967	8,777,099

当事業年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	1,320,740	1,088,420	137,017	1,225,438	205,810	5,100,000	856,438	6,162,248
当期変動額								
剰余金の配当							△143,246	△143,246
当期純利益							285,064	285,064
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計							141,818	141,818
当期末残高	1,320,740	1,088,420	137,017	1,225,438	205,810	5,100,000	998,256	6,304,066

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△86,295	8,622,131	154,967	154,967	8,777,099
当期変動額					
剰余金の配当		△143,246			△143,246
当期純利益		285,064			285,064
自己株式の取得	△123	△123			△123
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			164,780	164,780	164,780
当期変動額合計	△123	141,694	164,780	164,780	306,474
当期末残高	△86,418	8,763,826	319,747	319,747	9,083,573

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	当事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	325,403	457,382
減価償却費	616,274	511,956
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,700	200
受取利息及び受取配当金	△28,915	△31,004
支払利息	10,994	10,030
投資有価証券売却損益(△は益)	-	0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△9,081	△45,986
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	13,300	13,301
固定資産廃棄損	1,373	10,697
売上債権の増減額(△は増加)	△250,446	△1,018,459
たな卸資産の増減額(△は増加)	△197,760	71,717
その他の資産の増減額(△は増加)	57,058	3,853
仕入債務の増減額(△は減少)	356,626	300,801
未払消費税等の増減額(△は減少)	72,029	59,893
その他の負債の増減額(△は減少)	34,065	57,191
小計	996,223	401,575
利息及び配当金の受取額	28,463	30,651
利息の支払額	△11,082	△10,224
法人税等の支払額	△21,082	△161,081
営業活動によるキャッシュ・フロー	992,522	260,921
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△204,378	△179,145
投資有価証券の取得による支出	△1,647	△101,585
投資有価証券の売却による収入	50,000	0
貸付けによる支出	△1,000	△1,000
貸付金の回収による収入	2,334	924
定期預金の払戻による収入	-	100,000
無形固定資産の取得による支出	△9,872	△16,351
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△1,457	△1,174
投資活動によるキャッシュ・フロー	△166,021	△198,332
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△100,000	-
長期借入れによる収入	200,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△300,800	△296,940
自己株式の取得による支出	△83	△123
配当金の支払額	△113,477	△143,707
財務活動によるキャッシュ・フロー	△314,360	△140,771
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	512,140	△78,182
現金及び現金同等物の期首残高	1,188,820	1,700,961
現金及び現金同等物の期末残高	1,700,961	1,622,778

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

(セグメント情報)

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社の事業内容としてはセラミックス事業とエンジニアリング事業に大別されます。

セラミックス事業は、工業用セラミックス製品を当社、堺工場および東山工場で製造し販売するもので、当社の製品は、ほとんどがエンドユーザーである電子部品、食品、薬品、塗料等の各メーカーにおける生産工程で使用されるセラミックス製の道具類、備品、機械部分等の消耗品であります。

エンジニアリング事業は、製造工場を持たず、加熱装置や計測機器等を商品として仕入れ販売しております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	財務諸表計上額
	セラミックス 事業	エンジニア リング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,570,325	2,338,630	7,908,956	—	7,908,956
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,570,325	2,338,630	7,908,956	—	7,908,956
セグメント利益	281,398	65,262	346,660	—	346,660
セグメント資産	7,887,384	1,560,227	9,447,612	2,220,017	11,667,629
その他の項目					
減価償却費	605,301	10,973	616,274	—	616,274
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	182,854	7,162	190,017	—	190,017

(注) 1. セグメント資産の調整額2,220,017千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2. セグメント負債の金額は、当社の最高意思決定機関に対して定期的に提供していないため記載しておりません。

当事業年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	財務諸表計上額
	セラミックス 事業	エンジニア リング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,831,134	2,942,004	8,773,139	—	8,773,139
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,831,134	2,942,004	8,773,139	—	8,773,139
セグメント利益	370,280	70,417	440,697	—	440,697
セグメント資産	7,982,908	2,391,632	10,374,540	2,185,217	12,559,758
その他の項目					
減価償却費	503,454	8,502	511,956	—	511,956
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	267,247	5,233	272,480	—	272,480

(注) 1. セグメント資産の調整額2,185,217千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2. セグメント負債の金額は、当社の最高意思決定機関に対して定期的に提供していないため記載しておりません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。



## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	当事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)
1株当たり純資産額	735.26円	760.96円
1株当たり当期純利益金額	16.04円	23.88円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	当事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	191,502	285,064
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	191,502	285,064
普通株式の期中平均株式数(株)	11,937,365	11,937,129

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当事業年度 (平成27年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	8,777,099	9,083,573
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	8,777,099	9,083,573
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	11,937,328	11,937,022

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 6. その他

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## 1 生産実績

当事業年度における生産実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(千円)	前年同期比(%)
セラミックス事業	4,909,655	2.8

(注) 1. 金額は売価換算値で示してあります。  
2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## 2 仕入実績

当事業年度における仕入実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(千円)	前年同期比(%)
セラミックス事業	173,668	4.6
エンジニアリング事業	2,593,801	32.8
合計	2,767,470	30.6

(注) 1. 金額は仕入価格で示してあります。  
2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## 3 受注状況

当事業年度における受注状況をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
セラミックス事業	6,112,467	8.2	1,568,425	21.9
エンジニアリング事業	2,590,691	△8.8	335,708	△51.1
合計	8,703,158	2.5	1,904,133	△3.5

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## 4 販売実績

当事業年度における販売実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(千円)	前年同期比(%)
セラミックス事業	5,831,134	4.7
エンジニアリング事業	2,942,004	25.8
合計	8,773,139	10.9

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## (2) 役員の異動

## 1 代表者の異動

該当事項はありません。

## 2 その他の役員の異動

当社は、本日開催の取締役会において、本年6月19日開催予定の当社第145回定時株主総会において付議する監査等委員会設置会社へ移行した後の取締役候補者について、本日「監査等委員会設置会社移行後の役員人事に関するお知らせ」を開示しておりますので、ご覧下さい。